

【国際戦略総合特区】アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区

[愛知県・岐阜県・三重県・長野県・静岡県 他]

【目標】

・アジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターを形成し、先端技術集約型産業である「航空宇宙産業」を振興するとともに、自動車に続く次世代産業として育成し、「技術立国・日本」の成長・発展を牽引することを目指す。

・具体的な目標値：中部地域における航空宇宙産業の生産高

8.7千億円（平成25年度）→ 10.8千億円（令和7年度）

中部地域における航空機・部品の生産高

5.8千億円（平成25年度）→ 7.8千億円（令和7年度）

中部地域における航空宇宙関連輸出額

3.5千億円（平成25年度）→ 3.7千億円（令和7年度）

中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数

令和3年度から令和7年度までの5年間で5件の増加

【取組概要】

ボーイング787の生産等や、H3ロケットの開発等に対応するため、以下の支援措置等を実施

・規制の特例措置（工場等の新增設における緑地面積率等の規制を緩和）

これまでの活用実績：17件

・税制支援（国際競争力のある産業拠点整備に係る法人税の軽減）

これまでの活用実績：108件

・金融支援（総合特区に関する計画に係る事業を実施する者が、金融機関から必要な資金を借り入れる場合に、総合特区支援利子補給金を支給）

これまでの活用実績：83件

※上記の実績はいずれも令和7年3月末時点

ボーイング787等量産事業



画像提供：ボーイング社

ボーイング787等を使用される部品の製造や複合材料を使用した航空機の機体の研究開発

ボーイング777X開発・量産事業



画像提供：ボーイング社

ボーイング777Xに使用される部品の製造

宇宙機器開発・供給事業



画像提供：JAXA

基幹ロケットをはじめとする宇宙機器の開発・供給